

親身な就職援護で不安を解消！

定年退職者 2 年前職業相談

南恵庭駐屯地援護センター

自衛隊札幌地方協力本部南恵庭駐屯地援護センターは、令和 8 年 1 月 21 日（水）南恵庭駐屯地において、令和 9 年度第 4 四半期に定年退職を予定している隊員に対し、定年退職者 2 年前職業相談を行いました。

本相談は、定年 2 年前の若年定年退職予定隊員に対し、個別に職業相談を実施して、希望職種等の方向性を確定させ、再就職の準備を促進させることを目的としています。

はじめに、センター長から退職までに計画しなければならない事項、再就職に向けた各自の構想、就業場所、必要な給与額、自分にはどのようなことができるのかなどの確認が行われ、続いて退職までに何をどのように行う必要があるのかを説明しました。

その後、隊員自身が作成した面談表を基に家族や経済の状況、それぞれが現段階で希望する就業形態、休日・賃金・就業場所・通勤時間等について聞き取りをし、各人に寄り添った個別面談を行いました。

職業相談の終わりに、センター長は「再就職にあたり、御家族の意見にも耳を傾けるように」と助言し、当初は不安の色が濃厚であった隊員達も、少し落ち着いた様子になり、「再就職について全く考えていなかったが、話をし、話を聞いて参考になった。」「見えていなかった定年退職が、少し見えた気がする。」との声があがっていました。

自衛隊札幌地方協力本部は、退職予定隊員が再就職するうえで、不安材料を少しでも解消できるよう、親身な就職の援助を行います。



全般説明を真剣に受講する隊員



センター長による個別面談の様子